

介護老人保健施設しおん

症 例 概 要 ご利用者様：90代女性

利用期間 ：令和7年5月～現在

既往：便秘症・うつ病・両変形性膝関節症・過活動膀胱・仙骨褥瘡

経過：介護者の長男のお嫁様が夜中のオムツ交換が体力的に限界になり令和7年5月に自宅からしおんに入所となる。

内 容

入所時に褥瘡が仙骨部にあった為、離床時間は食前後で約1時間と時間制限があり、あまり他利用者とコミュニケーションを取る事もできませんでした。その間、体調不良の訴えが多々聞かれ、不安を訴える事もあり意欲低下もみられてきました。このままの生活ではADLも下がり、寝たきりの状態になりかねないと考え、活気を取り戻すためにも少しずつではあるが離床時間の余暇活動としてアロママッサージをお試しでお勧めし行ってきました。何度か行っていく内にしおんでの生活に慣れて来たのか職員とも会話が徐々に増え、アロマにも拒否もなく毎行行って、今では生活の日課となっています。最近では見違えるように笑顔も増えていた為、“他に何かやりたい事はありますか？”との質問に「歩いてみたい」との返答がありました。実際には歩行は困難で車イスも介助での移動ですが、リハビリとの協力で車椅子に乗り足を踏み出す運動を生活上でも取り入れました。声掛けをしながら居室からホール自席まで移動を行ってみたところ本当に喜んでくれ「出来たね」と笑顔でお話をされていました。

褥瘡も看護師の毎日の処置と臥床時の体位交換を行った事で令和8年4月に完治の運びとなりました。離床時間も増え、今では他利用者と共に積極的に創作物の作成や体を動かすレクリエーションへ参加されるようになり活気も増してきて意欲も取り戻しています。今後も本人の希望の聞き取りを行い、笑顔が今まで以上に増え、輝く1日をまた提供できるようにしていきたいです。

看護師：褥瘡ケア

PT：車いすリハ

相談員：アロマケア

介護士：レク企画・日常ケア